

令和7年度 滋賀県たばこ対策推進会議議事概要

1 会議開催の主旨

健康づくり計画である「健康いきいき21－健康しが推進プラン－(第2次)」において、「喫煙」について取り組むこととし、本計画の行動指針として「健康しがたばこ対策指針」を策定し、「喫煙が及ぼす健康影響を低下させる」ことを目標に、「喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及」、「20歳未満の者の喫煙防止(防煙)対策」、「受動喫煙防止対策」、「禁煙の支援」を柱にたばこ対策を推進している。そこで、各機関が連携して事業を推進するため、「滋賀県たばこ対策推進会議」を設置し、健康寿命の延伸を目指した取組について検討する。

2 開催日時

令和8年2月3日(火) 15時00分から16時30分

3 開催場所

滋賀県庁北新館5階5B会議室

4 会議委員

出席者 三浦委員、稲本委員、堀出委員、木村委員、高山委員、小林委員、
久保委員、尾中委員、堀江委員、葛城委員、枅谷委員、伊藤委員、
北嶋委員、市田委員

欠席者 井上委員、上品委員、柴宮委員、小林委員

【協議概要】

議題1 滋賀県たばこ対策の現状と取組について *事務局から説明

(1) 滋賀県たばこ対策の現状について 資料1-1

(2) 滋賀県のたばこ対策の取組について 資料1-2

(3) 健康増進法に基づく対応状況について 資料1-3

<主な意見、提案>

- SNSの投稿頻度を上げてはどうか。定期的に上げることで拡散されて情報が広がっていく。

議題2 各関係団体・機関におけるたばこ対策の推進について

(1) たばこ対策に関する市町取組状況について 資料2-1 *事務局から説明

<主な意見、提案>

- 市町ごとにできている施策、できていない施策を一覧にまとめてはどうか。

(2) 各関係団体・機関におけるたばこ対策の取組について 資料2-2

*各委員からの報告

- 特定健診や高齢者健診で来られた方に喫煙の有無を確認したり、たばこの健康影響を説明したりしている。禁煙外来は開設しているところが少ないため、産業医の先生が企業内で禁煙指導を行うのが効果的だと考える。
- 多くの歯科医院で、たばこが歯周病、口腔がん、口内炎、口臭など口腔内の様々なりスクを高めることを患者さんに説明している。最近では、歯周病が全身疾患、特に糖尿病の悪化にもつながることが分かっており、医科と連携して相互に治療を促している。
- 薬局内では、県から提供された啓発資材を掲示し禁煙を呼びかけた。薬局外では街頭啓発、薬剤師会で作成したポスターの掲示、出前講座、学校薬剤師としてたばこの健康影響について話す機会も設けている。
- 禁煙デーや禁煙週間などを通じて、健康推進員自身が禁煙の重要性を認識し、それを地域に持ち帰って啓発活動を行っている。ある市町では、「受動喫煙はこんなに怖い」という寸劇を10年近く小学校などで演じ、啓発に回っている。
- 中学校では第2学年の保健体育の授業で喫煙の健康影響、依存性、受動喫煙の問題などについて学習する。生徒指導においても、喫煙している生徒への指導を含め、喫煙をなくすよう取り組んでいる。
- たばこを売る側として、法律で定められたことを遵守し、特に20歳未満へのたばこ販売禁止は徹底している。また、20歳未満の者の喫煙防止キャンペーンを実施しており、協力をお願いしたい。
路上での受動喫煙防止のため、たばこ税を活用し、受動喫煙を防止するための施設を設置するといった対策を講じるよう要望したい。
- 労働局と労働監督署には、社用車での受動喫煙、勤務時間中の喫煙、20歳未満の者の喫煙など、年間数件から10件程度がたばこに関する相談がある。
受動喫煙防止の助成金の利用を勧奨しているが、健康増進法改正後、対象範囲が狭くなり申請は大きく減った。

職場における受動喫煙防止のためのガイドラインについて、労働災害防止のセミナー・説明会の中で少し触れるようにしている。

- 長浜市では、妊婦健診で妊婦自身や同居家族の喫煙状況を聞いて指導している。小中学校でたばこやがんに関する内容を合わせて出前講座をしている。
新型たばこの健康被害が確定していないことや中学校卒業後、高校・大学に進学すると啓発が手薄になることを懸念している。
- 甲賀市では、特定健診の相談で喫煙者の方への情報提供をしている。
市に COPD 患者が多いことから、肺年齢測定会を実施している。
がん教育と合わせて小学校と協働し、たばこに関する啓発をしている。
母子健康手帳交付時に、受動喫煙防止の指導をしている。
- 学校現場においては、各教科、禁煙予防教室、がん教育など、あらゆる機会に禁煙に関する教育を行っている。限られた時間の中でどうやって効果的に教育ができるのか各機関とも連携を取りながら模索している。

<主な意見、提案>

- 参考資料 2 「たばこ対策のロジックモデル」について、正確な出典を教えてください。

(後日回答)

【出典】

厚生労働行政推進調査事業費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)分担
研究報告書 がんに関する数値目標と施策の提案－たばこ対策を中心とする検討－ より
研究分担者 片野田耕太 国立がん研究センターがん対策研究所 データサイエンス研究部・部長

【資料の掲載場所】

<https://kenkounihon21-3rd.net/region.html>

個別施策の「喫煙者不採用」は人権侵害に当たるのではないか。

(委員から回答) 各企業の判断により実施する、施策の例として挙げているものであり、すべての企業に強制するものではない。

- 健康支援薬剤師は県薬剤師会で認定していて、現在約 60 名いる。これまでは禁煙に特化していたが、今は健康支援を幅広く行っている。出前講座や資材も提供しているので、委員の皆様にも活用いただきたい。

議題3 その他

*稲本委員より講話 「新型たばこの最新情報」

<質疑応答>

- CBD のリキッドのスポンサーにプロスポーツ選手が起用され、選手自身も使用している事例もある。このような、インスタなど SNS で上手くプロモーションしているという実態があり、対抗していくのは難しいと感じている。

(委員から回答)

CBD は大麻に含まれる成分の一部で違法ではない。

情報発信を定期的にしていくことが重要。正しい知識を持っていなくて吸っている人もいるので、そういう人へも啓発が有効。